



# 校長室だより

令和5年如月1日  
呉市立宮原中学校  
文責 馬屋原美智子  
第10号

## 本年もどうぞよろしくお願ひします。

新学期がスタートして早1ヶ月。3学期の始業式では大リーグの大谷翔平選手を例に出して生徒に伝えました。16歳で描いた夢、その実現に向けて計画的に実践していった結果、今の彼がある。だから私達も夢(目標)をもって実現するための具体的な計画を練り、実践を行っていききたいものです。

## まとめの学期・・・そして新たなる目標設定

学校生活では3学期は「まとめの学期」と位置づけています。今年度の学習の振り返りを行い、身についた力と足りない力を確認し、次年度に向け、教師も生徒自身も意識をして取組を進めるのです。

令和5年度公立高等学校入学者選抜試験から「自己表現」が加わったことについては折に触れてお話ししていると思いますが、広島県教育委員会のHPを見ると、「自己表現」導入に関わってこのようなことが記載されています。

広島県教育委員会では、みなさんがこれから大人になり、社会に出て行った際には

- ・自分自身のことを理解する「自己を認識する力」
- ・自分の夢や目標、やりたいことなどについて、自分で考え、選択し、自らの意志で決める「自分の人生を選択する力」
- ・自分自身のことや自分の意見などを、相手に理解してもらえるように、相手や場面に応じて、工夫しながら伝える「表現する力」

が必要になってくると考えており、中学校を卒業する15歳の段階で、本県の生徒全員に、このような力を身に付けておいてもらいたいと考えています。

そのため、「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」としてこれらの力を明示し、どのくらい身につけているのかをみるために、公立高等学校入学者選抜において、受検者全員に「自己表現」を実施することにしました。

「自己表現」では、自分自身のこと(得意なことやこれまで取り組んできたことなど)や、高等学校に入学したあとの目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で、自分らしく、のびのびと表現してください。

また、これまで中学校の先生が調査書に記載していた特別活動の記録や、スポーツ・文化・ボランティア活動等の記録などは、調査書に記載しないこととして、みなさんが「自己表現」の中で、自分自身でアピールすることにしています。

活動の実績そのものを評価するわけではありませんので、みなさんの夢や目標を大切にしながら、“自分らしい”中学校生活を送ってください。

「広島県教育委員会HPより」

読んでみるとわかるように、「自己表現」はまず、自分自身のことを理解する「自己を認識する力」があって初めてできることなのです。つまり、「自分にどんな力があって、何が不足しているのか」を自分で

考えなければ決してたどり着かないということです。本校の生徒を見ていても、ここ（自己を認識する力）が難しい生徒がいます。同級生であってもその力には差があります。その力は学校教育だけでつく力ではないことは長年の経験で確信をもっています。

そこで、保護者の方をお願いしたいのは、子ども達が社会に出たときに自分で考え行動して生きていけるようにご家庭でも日頃から話をしたり、実際に行動で示したりしていただきたいということです。

中学生のお子さんはもう自分の背を追い越しているかもしれません。でも内面はまだまだ幼いのです。だから気持ちを離さないでほしいのです。

「誰かがなんとかしてくれる」と思っている生徒は、困ったときに自分で「どうにかしよう」と動きません。お子さんは学習でも分からないところがあれば「自ら」聞きに来たり、友達に聞いたりしているでしょうか。毎朝自分で起きて、時間を見ながら家を出ているでしょうか。大切なことを言葉で保護者に伝えているでしょうか。説教がましい感じになってしまいましたが、子どもの育成には家庭での教育（普段の生活の中で一方的な指示だけに終わらず、問いかけ、子供の思いも聞いて、そして、思いを伝え合うこと）がとても重要だということをお伝えしたかったのです。学校と家庭が子どもを間において共に悩み、相談し、動いていきましょう。

## 3年生の保護者の皆様へ

和庄中学校を対象に始められた小柴クリーニングの社会貢献事業「学生服の寄付・無償クリーニング企画」。中学校を卒業したら必要なくなる制服を学校に寄付してもらい、その学生服を小柴クリーニングが無償でクリーニングをしてくださるとい企画です。各校に届けられた制服を小柴クリーニングに出し、きれいになった制服を学校が受け取って、急な転校生や成長著しい生徒のために再利用しようというわけです。もちろん保護者の皆様のお金で購入された制服ですから、友人や親戚に譲る予定がありがたいものは出されなくても良いのです。そんな予定がなく、廃棄されたりするものがあれば、協力いただきたいと思います。卒業までにお考えいただき、よろしければ学校に申し出ていただけると助かります。よろしく願いいたします。

### 「教室におじゃまします」 1月27日（金）6年 体験授業の巻

1月26日・27日（木・金）は小学校6年生とその保護者対象の入学説明会でした。27日の宮原小学校6年児童の体験授業は「理科」。ドライアイスを使った実験を行いました。日常生活の中にある一コマを切り取って「理科的」にもものを見る観察や実験。「なぜそうなるんだろう」という疑問がもとになり「こうしてみればこうなるかな」など予測を立てて実験する。実際にやってみてどうなったかを確認し、次なる方法を考える……。児童たちは中学校の理科を体験し「楽しかった」と言っていました。毎時間が体験授業のようなことばかりではないけれど、理科の面白さを体感してくれたようです。

